

2014年度4月入学  
早稲田大学社会科学部

## 科目等履修生(教職課程)募集要項

### 個人情報の取り扱いについて

当学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格者発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。

また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。

なお、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。あらかじめご了承ください。

### 受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合

身体機能の障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、当学部までお問合せください。また、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにお問い合わせください。

### 不可抗力による事故等について

台風、地震、洪水、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験の延期等の対応措置をとることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

早稲田大学 社会科学総合学院事務所  
〒169-8050 東京都新宿区西早稲田1-6-1  
TEL 03-3204-8952  
FAX 03-3204-8962  
E-mail [socsaca@list.waseda.jp](mailto:socsaca@list.waseda.jp)

2014年度 社会科学部 学部暦

行事		日程	
入	学 式 ( 全 学 部 )	4月 1日 (火)	
春 学 期	春 学 期 授 業 開 始 ※前半 4/ 5(土)~6/6(金)、後半 6/7(土)~8/1(金)	4月 5日 (土)	
	祝 日 授 業 日	4月 29日 (火)、7月 21日 (月)	
	臨 時 休 業 日	自	4月 30日 (水)
		至	5月 2日 (金)
	春 学 期 教 場 試 験 期 間	自	7月 19日 (土)
		至	7月 25日 (金)
	春 学 期 定 期 試 験 期 間	自	7月 26日 (土)
		至	7月 31日 (木)
	試 験 予 備 日	8月 1日 (金)	
春 学 期 授 業 終 了	8月 1日 (金)		
夏 季 休 業 期 間	自	8月 2日 (土)	
	至	9月 20日 (土)	
9 月 卒 業 式 ・ 学 位 授 与 式		9月 20日 (土)	
秋 学 期	秋 学 期 授 業 開 始 ※前半 9/25(木)~11/22(土)、後半 11/23(日)~2/ 4(水)	9月 25日 (木)	
	祝 日 授 業 日	10月 13日 (月) 11月 3日 (月)、11月 24日 (月)	
	創 立 記 念 日 ( 授 業 実 施 )	10月 21日 (火)	
	学 部 デ ー	10月 29日 (水)	
	体 育 祭 ( 全 学 授 業 休 講 )	10月 30日 (木)	
	臨 時 休 業 日	10月 31日 (金)	
	早 稲 田 祭 ( 全 学 授 業 休 講 )	自	11月 1日 (土)
		至	11月 2日 (日)
	冬 季 休 業 期 間	自	12月 23日 (火)
		至	2015年 1月 7日 (水)
	秋 学 期 教 場 試 験 期 間	自	1月 22日 (木)
		至	1月 28日 (水)
	秋 学 期 定 期 試 験 期 間	自	1月 29日 (木)
		至	2月 3日 (火)
試 験 予 備 日	2月 4日 (水)		
秋 学 期 授 業 終 了	2月 4日 (水)		
春 季 休 業 期 間	自	2月 5日 (木)	
	至	3月 31日 (火)	
学 部 卒 業 式		3月 25日 (水)	

※ 教室一覧は、授業開始日以降に掲載します。

※ 日程は、都合により変更することもありますので、掲示板等に注意するようにしてください。

※ 授業時間帯は以下の表の通りです。(試験の時間帯は異なる場合がありますのでご注意ください)

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
9:00- 10:30	10:40- 12:10	13:00- 14:30	14:45- 16:15	16:30- 18:00	18:15- 19:45	19:55- 21:25

## 手続の進め方

	段階	内容	日程	掲載ページ
手 続 き	STEP1	出願(窓口・郵送)	2/25-3/3	P. 3
	STEP2	選考	—	P. 4
		選考料納入	2/25-3/3	P. 4
	STEP3	合格者発表	3/15	P. 6
		入学手続書類発送	発送予定	
	STEP4	学費等振込	3/17-3/20	P. 6
		入学手続(窓口・郵送)	3/17-3/20	P. 7
STEP5	学生証、登録結果通知書交付 授業開始	4/2~4/5	P. 7	

※ 2/25-3/6 教育実習・介護等体験事前登録(P. 9~12)

### 【参考資料】

出願書類一覧	別紙①(本要項P. 8)
教育実習申込要項	別紙②-1(本要項P. 9~12)
介護等体験申込要項	
教育職員免許状申請	別紙②-2(本要項P. 13)
教育職員免許状取得のための科目履修方法	別紙③-1(本要項P. 14~15)
教職に関する科目一覧・教科又は教職に関する科目一覧	別紙③-2(本要項P. 16~18)
教科に関する科目一覧(中学一種社会、高校一種地歴・公民・商業)	別紙③-3(本要項P. 19~24)

## 科目等履修生の教職課程について

本制度は、**社会科学部在学中**に教育職員免許状取得に必要な所定単位を取得できずに卒業した方が、免許状を取得するために必要な科目を履修し、**教育職員免許状(教員免許状)を取得するための課程**です。

### STEP1 出願

#### (1) 出願資格

2014年3月当学部卒業予定者および当学部既卒者であり、在学中教員免許状を取得しなかった者で、免許状の取得を目的とする者。

#### (2) 注意事項

- ① 取得可能な免許は中学校一種「社会」、高等学校一種「地理歴史」「公民」「商業」の4科目です。  
※ 高等学校一種「情報」については募集しません。
  - ② 在籍期間は当該年度に限ります。翌年度以降も、引き続き、科目等履修生としての科目履修を希望する場合は、改めて、出願～入学手続きが必要になりますので、ご注意ください。また、その場合、在籍可能な期間は通算3年間を限度とします。
  - ③ 「大学院在学生(入学予定者を含む)」は事前に指導教員より科目等履修生(教職課程)として単位を修得する許可を得ることが必要です(所定書式 **履修計画書・許可書**への指導教員の署名・捺印が必要です)。
  - ④ 科目等履修生は**学割**および**通学定期券購入**のための証明書は発行できません。
  - ⑤ 旧法課程科目の順次廃止に伴い、**新規の旧法適用者の受入は停止**してします。  
旧法課程の方は新法課程に読み替えの上、不足する単位を修得してください。
  - ⑥ 以下の科目群を履修することが出来ます。詳細は別紙③-1～3(本要項P.14-22)をご参照ください。  
・「教職に関する科目」                      ・「教科に関する科目」  
・「体育、情報機器の操作等」            ・「教科又は教職に関する科目」
- 但し、履修に際し、以下の点にご注意ください。

- (1) 履修科目は、合計**年間30単位を上限**とします。
- (2) また、教育学部設置の教職に関する科目の履修は**年間20単位まで**とします。
- (3) 一部科目については、履修条件の前提条件が設定されていたり、所定の手続きが必要な場合があります。詳細は「**教育実習申込要項**」「**介護等体験申込要項**」(別紙②-1)、「**教育インターンシップ・初等教育インターンシップの履修条件**」(別紙③-2)の各項目をご参照ください。
- (4) 申請された科目は基本的に履修可能となり、申請後の変更は原則認められません。

- ⑦ 履修計画書・許可書の記入方法について  
履修計画書に記入欄がある「科目キー」・「科目クラスコード」は、「**開講科目時間割(科目等履修生用)**」・**Webシラバス(本要項P.14)**を参照し、漏れなく記入してください。記入に誤りがあると希望する科目の登録ができませんのでご注意ください。

#### (3) 募集人員

若干名

#### (4) 出願書類入手方法

出願書類は**2月25日(火)以降**社会科学総合学術院事務所にて配付いたします。郵送をご希望の場合は、角2封筒に140円切手を貼付した返信用封筒を同封の上、社会科学総合学術院事務所学務係(表紙の連絡先参照)までお申込ください。

#### (5) 出願要領

- ① 出願書類 別紙①(本要項P. 8)参照
  - ② 出願方法 **郵送(簡易書留)または 本人持参**
  - ③ 出願期間 **2月25日(火)～3月3日(月)**
- ※ 持参される場合は、**13時～16時まで**に社会科学総合学術院事務所(早稲田キャンパス14号館3階)に提出してください。

※ 郵送される場合は、3月3日(月)必着でお願いします。

【注意】

- (1) 提出書類は、すべて楷書で記入してください。
  - (2) 一度提出した書類および納入した選考料・学費等は、原則として返還しません。
  - (3) ただし、以下のケースに該当する場合には、選考料に限り全額または超過分を返還いたします。該当する方は社会科学総合学院事務所 学務係(TEL 03-3204-8952)までご連絡ください。
    - ・ 選考料を支払ったが、出願書類は提出しなかった
    - ・ 選考料を多く払いすぎてしまった
    - ・ 出願資格を満たさなかった、または、出願締切後に書類を提出した
  - (4) 出願後は志願内容の変更を認めません。
- ※ 相談事項がある方は、出願時ではなく事前にご相談ください。

## STEP2 選考・選考料

### 2.1 選考について

#### 【選考方法】

出願書類により書類審査のうえ、入学を許可します。

#### <<入学試験受験に際しての注意事項>>

当学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。当学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

- 1) 次のことをすると不正行為となることがあります。
  - ・ 志願者以外のものが志願者本人になりすまして試験を受けること。
  - ・ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- 2) 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。
  - ・ 当該年度における当学の全ての入学試験の受験を認めないこと(選考料は返還しない)。
  - ・ 当該年度における当学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

### 2.2 選考料の振り込み・・・新規者のみ(継続者\*および大学院生は除く)

※ 「継続者」とは、2013年度に社会科学部科目等履修生として在籍している方を意味します。ただし、選考料免除期間は、2013年度科目等履修生より、初めて科目等履修生として入学した年度の翌年度と翌々年度の2年間に限ります。継続者にあらず、2014年度に当学大学院に正規生として籍をおかれたい方は、選考料が必要です。

#### 【選考料】

25,000円

#### 【納入期間】

2月25日(火)10:00～3月3日(月)16:00

#### 【納入方法】

次頁「早稲田大学コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照のうえ、最寄りのコンビニエンスストア(ローソン、セブンイレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクス)から納入してください。以下の点にご注意ください。

- a. 上記の店舗で土日・祝日を問わず、24時間いつでも入学検定料を支払うことができます。ただし、納入支払受付開始日は10時から、納入受付最終日は23時半までの利用となります。最終日は出願書類の提出時間を考慮して手続を行ってください。
  - b. 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『志願票』の所定欄に貼り付けて提出してください。詳細は次頁にある「コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法」を確認してください。
  - c. 入学検定料の支払方法は、コンビニエンスストアからの納入のみとなります。お住まいの地域に上記コンビニエンスストアがない、日本国外在住である等の事情により、コンビニエンスストアでの支払が困難な場合は、事前に当学部事務所までご連絡ください。
  - d. コンビニエンスストアでの納入に際しては、家族・知人が代理で手続する場合でも、必ず志願者本人の情報(住所・氏名・生年月日等)を入力するようにしてください。
- ※ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話よりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」(<http://e-shiharai.net/>)にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。

# 早稲田大学 コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブンイレブン」「サークルK」「サンクス」「ローソン」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

## ① まずはケータイかパソコンで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。申し込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

本学HPからもアクセスできます！



## ② コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「検定料収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)

**7**  
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて  
「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。  
※プリントしなかった場合は、番号を伝えるだけでOKです  
注) マルチコピー機は利用しません。

●レジにて代金をお支払いください。  
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

**サークルK**  
【オンライン決済番号 (11ケタ)】

カルワザ ステーションへ  
各種支払い  
オンライン決済番号を入力してお支払い  
【オンライン決済番号】を入力します。

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。  
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。  
※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

**LAWSON**  
【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

Loppiへ  
各種サービスメニュー  
各種代金・料金お支払い  
各種代金お支払い  
マルチペイメントサービス  
【お客様番号】【確認番号】を入力します。

**FamilyMart**  
【お客様番号 (11ケタ)】  
【確認番号 (4ケタ)】

Famiポートへ  
代金支払い  
各種代金お支払い  
マルチペイメントサービス  
【お客様番号】【確認番号】を入力します。

## ③ 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

### ●セブンイレブン

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「チケット等払込受領証」は保管。



※チケット形状が変更になる可能性があります。

### ●サークルK・サンクス

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「オンライン決済領収書」は保管。

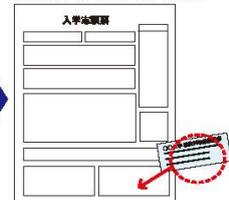


### ●ローソン

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



※「収納証明書」を郵付する際には、本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを誤用する場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

### ■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日のシステム対応は23:30まで、「Webサイトでの申込み」は23:00までとなりますので、余裕をもってお支払いください。
- 一度お支払いされた検定料は、店頭では一切返金できませんのでご注意ください。

●検定料の他に払込手数料が別途かかります。(全コンビニ共通)

払込 手数料	検定料が3万円未満	420円
	検定料が3万円以上	630円

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

## STEP3 合格者発表・入学手続書類発送

3月15日(土)17時(予定)に合格・不合格に関わらず結果を郵送にてお送りします。合格者には入学手続関連書類を送付する予定です。3月18日(火)を過ぎても届かない場合は、お手数ですが、社会科学総合学院事務所にお問い合わせください。

## STEP4 学費等振込・入学手続書類提出

### 4.1 学費等振込…全員必須 但し、当学大学院在學生は一部免除

聴講料(銀行)……3月20日(木)まで

その他実習費等(生協)……4月11日(金)まで

費目	学費等額	注意事項	納付方法
聴講料	1単位につき 33,400円	1科目2単位の場合 33,400円×2=66,800円 ※当学の大学院在學生は免除	入学手続書類に同封の 振込用紙を使用し、銀行 で支払い
教職課程聴講料	10,000円	※当学の大学院在學生が、教育学部の教職課程 科目を履修する場合にのみ必要(入学手続時 に納入。継続の方も単年度ごとに必要です)。	入学手続時にお渡りする 納入票を使用し、生協で 支払い
介護等体験費	7日間:14,500円 5日間:10,500円 2日間: 500円	※介護等体験申込者のみ納入が必要。 体験日数により金額が異なる。 事前にWebから申し込みが必要です。	
保健体育科目 実験実習料	1単位:1,500円 2単位:3,000円	※体育科目申込者のみ必要。(体育科目は2単位 必要となります。ご注意ください)	

- (1) 入学手続書類として同封する「**学費等振込依頼書**」により、上記の聴講料分の学費等を指定銀行へ振り込んでください。その際に、取扱い銀行から発行された領収書(銀行の出納印のあるもの)の**コピー**を**入学手続時に提出**してください。
- (2) 教職課程聴講料、介護等体験費、保健体育科目実験実習料の各種費用は**別途必要**となります。納入期間内にお支払いが無い場合は、該当科目は取消しとなりますのでご注意ください。納入が必要な場合は、入学手続書類一式に**聴講料納入票**が同封されています。こちらを使用して、納入票に記載の早稲田大学生生活協同組合受付店舗(早稲田キャンパスの場合、17号館2階トラベルセンター)で納入してください。
- (3) 納入時に大学生協から返却される「**聴講許可書 兼 領収書**」(聴講料納入票の半券)の**コピー**を**学生証交付時に提出**してください。

**納入場所** : 早稲田キャンパス17号館2階生協トラベルセンター

**納入期間** : 3月19日(水)～4月11日(金)

※早稲田大学生生活協同組合受付店舗の受付時間内

## 4.2 入学手続(郵送または窓口)・・・全員必須

- (1) 手続方法 手続書類を社会科学総合学院事務所(早稲田キャンパス14号館3階)に提出してください。
- (2) 手続期間 3月17日(月)～20日(木) 9:00～17:00
- (3) 郵送の場合は3月20日(木)必着
- (4) 手続時に必要な書類(予定)
  - ① 誓約書・保証書《所定用紙》
  - ② 個人情報の取扱いに関する同意書《所定用紙》
  - ③ 学生カード《所定用紙》カラー写真貼付 縦4センチ×横3センチ 1枚  
出願時に写真票に添付したものと同一のもの
  - ④ 住民票または住民票記載事項証明書  
(市区町村役所で証明を受けたもの)
  - ⑤ 学費等振込領収証《所定用紙》の写し
  - ⑥ 受験票(手続時に提示のみ)
  - ⑦ 入学手続用紙(学生個人記録)

※ 一度提出した書類および納入した聴講料等は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合には、学費等のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の手引き」をご参照ください。

※ 期間経過後の入学手続は一切認めませんので、ご注意ください。

## STEP5 学生証・登録結果通知書受渡・授業開始

「学生証」及び「科目登録結果通知書」、「Waseda-net初期ID・パスワード」等は4月2日(水)以降、社会科学総合学院事務所にて、「受験票」と「聴講許可書 兼 領収書」(聴講料納入票の半券)の引換に交付します。継続者の方は併せて前年度学生証もお持ちください。

## ■出願書類一覧■

※ 以下の表中の「継続」とは、2013年度に当学部科目等履修生であった方を意味します。2013年度に学部を卒業する方は、科目等履修生としては「新規」扱いとなります。

★=当学所定書式有 ○は提出必須 △は該当者のみ ×提出不要

必要書類	注意事項 ※ペンまたはボールペンで記入してください。	新規者	継続者	大学院生
①★「社会科学部科目等履修生 A志願票・B写真票 ・C受験票」	B:カラー写真貼付 (縦4 <sup>センチ</sup> ×横3 <sup>センチ</sup> 脱帽背景なし。3ヶ月以内に撮影のもの)。 ※写真は入学手続き時に学生カード用にも必要となりますので、同一のものを3枚ご用意ください(出願時に2枚、入学手続き時に1枚が必要です)。	○	○	○
②★「履修計画書」	科目登録には制限があります。 <b>STEP1 出願</b> (2)注意事項(P.3)を確認の上、作成してください。	○	○	○
③★「入学選考用紙」	書類選考の参考とします。志望理由など全ての項目にご記入ください。	○	○	○
④「成績・卒業証明書」又は 「成績・卒業見込証明書」	3ヶ月以内に発行のもの。出願時に「成績・卒業見込証明書」を提出された方は、後日「成績・卒業証明書」を再提出してください。	○	×	○
⑤「学力に関する証明書」 (在学中の方は「学力に関する証明書(見込)」) ※成績証明書とは別のものです。	他大学等で教員免許状に関する単位を修得した方は、当該大学で3ヶ月以内に発行された「単位修得証明書」の提出が <b>取得希望教科(種類)ごとに必要</b> です。	△	△	△
⑥★「入学選考料等振込証明書」 ※コンビニエンスストアで選考料納入後に受け取る証明書です。	「早稲田大学収納証明書」を破線で切り取り「社会科学部科目等履修生 志願票・写真票・受験票」の「A志願票」に貼付してください。 ※継続者および当学大学院在学者(在学予定者)の方は「選考料」は免除になります。(P.4 選考料参照)	○	×	×
⑦小論文 教育実習演習履修希望者のみ提出	記載された課題に対して直筆で論文を作成してください。所定用紙をダウンロード・印刷し、記載された課題に対して直筆で論文を作成してください。提出された小論文が一定の基準に満たない場合、当該科目の履修を認めないことがあります。	△	△	△
⑧その他:戸籍抄本、 遅延届(書式自由)等	婚姻その他で証明書と氏名が異なる場合には発行後3ヶ月以内の「戸籍抄本」が必要です。 <b>必要書類が出願時までに間に合わない場合は、その旨の文書を出願時に同封し、後日早めに提出してください。</b>	△	△	△

## 教育実習申込要項

教育実習を行うには、以下の条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

### (1) 前提条件

#### 【中学校・高等学校】

以下①～②の条件を満たしていること。

①前年度までに、以下科目の単位を修得済みであること（教職課程認定上、同等の科目でも可）。

- ・「教科に関する科目」のうち16単位以上
- ・「教職概論」「教育課程編成論」「教育基礎総論1」「教育基礎総論2」「教育心理学」「教科教育法1」「教科教育法2」「教育方法研究」
- ・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち **2領域(各2単位)以上**

②当該年度に教員免許状取得に必要な科目を全て修得見込であること。

### (2) 実習校の確保

原則は母校実習とし、各人が出身学校に内諾を得ている必要があります。下記の**事前登録期間の最終日(3月6日(木)までに内諾を得ていない場合、「教育実習演習」を登録することはできません。**

※実習前年度に、大学を通しての実習校・教育委員会との派遣手続きが必要な場合、当学では前年度に当学に学籍があり、教育実習ガイダンスの参加および事前登録（6～8月）を行った学生のみに対応します。

### (3) 出願

#### 1) 事前登録

教育実習実施希望者は、2014年2月3日（月）～3月6日（木）の間に、教育学部ホームページ (<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/>) の左のメニューにある「卒業者の方」から「科目等履修生」を選択し、「全学の科目等履修生 教育実習申し込みはこちら」より教育実習内諾情報を入力してください。

なお、前年度(2013年度)に、Waseda-net ポータルで教育実習事前登録をしている場合、今回の事前登録は不要です。ただし、事前登録内容に変更が生じている場合にはメールにてお知らせください(教育学部教職課程：[kyousyoku-office@list.waseda.jp](mailto:kyousyoku-office@list.waseda.jp))。

#### 2) 科目登録

出願時、「履修計画書」にて「教育実習演習」を申請してください。次表のとおり、教育実習の「期間」「時期」により登録する科目・クラスが異なります。

なお、原則として、登録後の変更はできませんのでご注意ください。

#### 【中学校・高等学校】

2週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先
4月～7月の場合	教育実習演習（2週間）の 春学期開講クラス	高校のみ	中学または高校
8月～1月の場合	教育実習演習（2週間）の 夏秋期開講クラス		

3週間の教育実習の場合			
実習時期	登録する科目名・履修クラス	取得可能免許状	実習先

4月～7月の場合	教育実習演習（3週間）の 春学期開講クラス	中学のみ または 中学高校両方	中学または高校
8月～1月の場合	教育実習演習（3週間）の 夏秋期開講クラス		

※ 開講クラスについて

春学期開講クラスは、シラバス指定の曜日時限に、事前指導4回と事後指導4回の計8回の講義が行われます。

夏秋期開講クラスは、夏季休業期間中の指定期間に事前指導4回（集中授業）と秋学期のシラバス指定の曜日時限に事後指導4回の計8回の講義が行われます。

3) 小論文の提出

「教育実習演習」履修希望者については、出願時に小論文の提出が必要です。教育学部ホームページ (<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/>) の左のメニューにある「卒業の方」から「科目等履修生」を選択、「出願関連書類一覧」から小論文の課題・所定用紙をダウンロードし、作成してください。

提出された小論文が一定の基準に満たない場合、当該科目の履修を認めないことがあります。

(4) 実習申込み

実習先によっては、所定の手続きが必要です。

①「都内公立学校実習者」「早稲田大学附属・系属校実習者」

別途、提出書類が必要です。手続き内容詳細については、入学手続き時にご案内します。

②上記以外の「個人実習」等の方

特に大学での手続きはありませんが、実習校によっては別途手続きが必要な場合がありますので、必ず事前に実習校に確認してください。また、所属事務所から配布される「教職課程履修の手引き（2014年版）」を熟読の上、教育実習の準備を行ってください。

以 上

## 介護等体験申込要項

介護等体験を行うには、以下の前提条件を満たすと同時に、所定の手続きを行う必要があります。

### (1) 前提条件

「教職概論」の単位を修得済みであること。また、「教育心理学」の単位を修得済みであることが望ましい（いずれも教職課程認定上、同等の科目でも可）。

### (2) 出願

#### 1) 事前登録

介護等体験希望者は、2014年2月3日（月）～3月6日（木）の間に、教育学部ホームページ（<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/>）の左のメニューにある「卒業者の方」から「科目等履修生」を選択し、「全学の科目等履修生 介護等体験申し込みはこちら」より「介護体験」の申請フォームへ入力してください。

#### 【体験日数について】

7日間（原則、土日を含む連続した7日間。ただし、体験先の指定により異なる場合あり）

- ※ 社会人の方が仕事を理由に、決定した体験日程の変更などを申し出ることは出来ません。
- ※ 土日のみの体験は希望できません。
- ※ 過去に一部介護等体験を終了しており、手元に「介護等体験証明書」（2日もしくは5日分）がある場合は、不足日数分を申請してください。

#### 【体験期間・体験先について】

体験期間：原則、2014年8月～2015年1月

体験先：東京都内の社会福祉施設での体験（2日間体験者は除く）

- ※ 社会福祉施設とは児童養護施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホームなどです。
- ※ 体験期間が2日間の場合は特別支援学校での体験となります。
- ※ 体験先は現住所を参考に、東京都社会福祉協議会が決定します。

#### 2) 科目登録

出願時に、「履修計画書」にて「介護体験実習講義」を申請してください。

### (3) 体験費の納入

入学予定学部から配付される納入票を使い、納入票に記載の早稲田大学生活協同組合受付店舗にて納入してください。（納入日程については、各学部の募集要項を参照してください。）

- ※ 一度納入された介護等体験費は、原則として、いかなる理由があっても返還できません。

#### 【体験費詳細】

体験日数	7日間	5日間	2日間
体験費	14,500円	10,500円	500円

### (4) 麻疹（はしか）に関する証明書の提出について

介護等体験に行くためには、原則として麻疹の抗体値が十分にある事の証明が必要になります。

以下の手続きに従い、麻疹（はしか）に関する証明書類提出の手続きを行ってください。

#### 【抗体検査の実施】

麻疹の抗体検査は一般的に内科にて検査できますので、近隣の内科へ連絡し費用を確認の上、受診してください。早稲田大学近隣での実施場所を確認されたい場合は「教育学部教職課程：[kaigo@list.waseda.jp](mailto:kaigo@list.waseda.jp)」までお問い合わせください。

#### 【検査結果の提出】

日程：2014年3月17日（月）～3月31日（月）

場所：教育学部レポートボックスNo49（16号館2階エレベータ前 サービスルーム内）

（開室時間：月～土 9:00～21:00）

所沢総合事務センター レポートボックス（100号館4階）

（提出は随時可能。ただし、最終日は16:00に締切）

提出体裁：教育・総合科学学術院事務所・所沢総合事務センターにて配布する用紙に添付して提出

- ※ 検査の状況により、上記提出締切に間に合わない場合は、検査結果が出次第、教育・総合科学学術院事務所（16号館2階）まで検査結果書を提出してください。
- ※ 体質等が原因で、抗体検査、予防接種（ワクチン接種）を受けることができない方は、その旨記載された医療機関発行の診断書を提出してください。
- ※ 抗体が体内にないと結果が出た場合は、予防接種（ワクチン接種）をし、再度検査を行ってください。
- ※ 提出書類は、原本でもコピーでもどちらでも構いません。

#### (5) 介護等体験の今後のスケジュール

時期	手続き・内容	場所・提出先
4/4	<input type="checkbox"/> 介護等体験事前ガイダンス (①. ②のどちらかに参加)	14号館201教室 ①10:40～12:10 ②14:30～16:00
4月	<input type="checkbox"/> 学生定期健康診断の受診	保健センター
4/4～4/14	<input type="checkbox"/> 体験不可能期間希望申請アンケート (体験が出来ない週を申請する手続き)	Waseda-net ポータル
4/12～5/16	<input type="checkbox"/> 介護体験実習講義（全4回）	
6月下旬	<input type="checkbox"/> 体験先・体験期間決定の案内 「介護等体験施設決定通知書（体験日程詳細）」および 「受け入れ連絡票（社会福祉施設の体験詳細）」の配付	<配付場所> 所属学部事務所
体験先決定後～ 7/11	<input type="checkbox"/> 「介護等体験希望学生個人票」の提出	教育・総合科学学術院事務所
	<input type="checkbox"/> 「健康診断書」の提出 (「受け入れ連絡票」で指示のあった学生のみ)	教育・総合科学学術院事務所
7月上旬 ～順次	<input type="checkbox"/> 「細菌検査結果書」の提出 (「受け入れ連絡票」で指示のあった学生のみ) ※ <u>大学を通さず</u> 施設に直接持参もしくは送付して ください。大学を通す場合には別途連絡致します。	体験先施設
	<input type="checkbox"/> 体験先施設での事前オリエンテーション (「受け入れ連絡票」等で指示のあった学生のみ)	体験先施設
随時	<input type="checkbox"/> 体験先施設への事前連絡 (「受け入れ連絡票」等で指示のあった学生のみ)	体験先施設
随時	<input type="checkbox"/> 「講義欠席特別扱願」の提出	介護等体験により欠席 した授業の担当教員
体験終了後 (9/21～1/23)	<input type="checkbox"/> 介護等体験ノート提出	教育学部レポートボックス
3月	<input type="checkbox"/> 「介護等体験実習講義」成績発表	

- ※ 大学から、Waseda-netポータルの「profile」に登録されている連絡先へご連絡することがあります。連絡先に変更のあった場合には、必ず最新の情報への更新手続きを行ってください。
- ※ 連絡事項は各学部の掲示板とWaseda-netポータルを通してお知らせします。随時ご確認ください。

**教育職員免許状申請**

教育職員免許法第5条別表第1の所要資格を充たす見込みの方は、別途行う免許状の一括申請の手続により、翌年3月25日に免許状(授与年月日は3月31日付となります)を取得することができます。

※ 一括申請の詳細は6月下旬頃に掲示します。

申込み期間:7月(予定)

宣誓・署名・捺印・手数料納入:11月中旬～下旬(予定)

※ 次の場合、一括申請はできません。各自住民票のある都道府県の教育委員会へ申請してください。

- ① 中学校もしくは高等学校の免許状を所持する者が当該校種の他の教科についての免許状を取得する場合(6条別表第4(他教科免許状の取得)を適用する場合)。
- ② 他の道府県の大学等で修得した「教職に関する科目」、「教科に関する科目」を使って申請する場合(「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」、「情報機器の操作」のみを使用して一括申請することは可能)。

## 教育職員免許状取得のための科目履修方法

**取得要領**

教育職員免許状の取得を希望する方は、「教育職員免許法」と「教育職員免許法施行規則」による所定の単位を取得しなければなりません。詳細は『**教職課程履修の手引**』（教育学部発行）を参照してください。

**【最低修得単位数】**

免許状の種類	基礎資格	早稲田大学における最低修得単位数						
		日本国憲法	体育(実技)	外国語コミュニケーション	情報機器の操作	教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目
中学校教諭1種免許状	学士の学位を有すること	2	2	2	2	32※1	20	7※2
高等学校教諭1種免許状						26※1	20	13※2
							合計59単位以上	
							合計59単位以上	

※ 1)2008年度より、「教育課程編成論」が新設され、「教職に関する科目」の最低取得単位数が中学、高校それぞれ、31単位から32単位へ、25単位から26単位へ変更となりました。

※ 2)「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

**教科に関する科目**

取得を希望する教科により、それぞれ履修科目が異なります。教科に関する科目一覧(別紙③-3)にて各自未修得科目を確認の上、今年度履修希望科目を「履修計画書」に記入してください。各科目の時間割・授業内容等は2月28日(金)以降、以下の**Webシラバス(旧シラバスシステム)**にて確認してください。

大学TOPページ>在学生>Webシラバス

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>

**教職に関する科目**

「教職に関する科目」(別紙③-2)にて各自未修得科目を確認の上、今年度履修希望科目を「履修計画書」に記入してください。各科目の時間割は、以下のHPの「**開講科目時間割(科目等履修生用)**」を確認してください。

早稲田大学教育学部TOPページ>入学案内>科目等履修生

<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/modules/admission/content0008.html>

**教科または教職に関する科目**

「教科又は教職に関する科目」(別紙③-2)にて、今年度履修希望科目を「履修計画書」に記入してください。

各科目の時間割は、以下のHPの「**開講科目時間割(科目等履修生用)**」を確認してください。

早稲田大学教育学部TOPページ>入学案内>科目等履修生

<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/modules/admission/content0008.html>

**日本国憲法**

当学部設置の「憲法I」を履修してください。時間割・授業内容等は2月28日(金)以降、以下の**Webシラバス(旧シラバスシステム)**にて確認してください。在学中に履修した「憲法」でも充当できます。

大学TOPページ>在学生>Webシラバス(旧シラバスシステム)

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>

### 体育(実技)

グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習」を合計で**2単位以上**履修してください。いずれも1単位の科目ですので、「体育(実技)」の最低修得単位数である2単位の要件を満たすためには、2科目以上の単位を修得する必要があります。在学中に履修した体育実技科目2単位でも充当されます。各科目の時間割は、以下のHPの「開講科目時間割(科目等履修生用)」を確認してください。

早稲田大学教育学部TOPページ>入学案内>科目等履修生

<http://web.edu.waseda.ac.jp/school/modules/admission/content0008.html>

### 外国語コミュニケーション

学部在学中に履修した外国語科目のうちの指定科目2単位で充当されます。科目等履修生としての履修は認めていません。

### 情報機器の操作

当学部設置の「社会科学のための応用コンピュータI・II」「コンピュータと社会工学I・II」「情報システム」「マルチメディア」「金融データ解析実習1」「金融データ解析実習2」の中から1科目を履修してください。各科目の時間割・授業内容等は2月28日(金)以降、以下のWebシラバス(旧シラバスシステム)にて確認してください。

大学TOPページ>在学生>Webシラバス(旧シラバスシステム)

<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.ph>

※ 在学中の以下の科目・単位を修得された方は、「情報機器の操作」関連の科目を履修する必要はありません。

#### ○当学部設置科目

当学部設置の「社会科学のためのコンピュータ」(基礎・応用いずれも可)「コンピュータと社会工学I・II」「情報システム」「マルチメディア」「金融データ解析実習1」「金融データ解析実習2」

#### ○グローバルエデュケーションセンター(旧メディアネットワークセンター)設置科目

「早稲田大学情報環境の活用(アカデミックリテラシー)」「マルチメディア入門(デジタルサウンド)」

「コンピュータによる統計入門」「コンピュータによる統計解析」「ソフトウェア開発技術」

「情報セキュリティ技術」「マルチメディア・コミュニケーション」

## ＜教職に関する科目(必修)＞

## 注意

「教職実践演習」とは「教員として必要な知識技能を修得したことを確認」するために、総まとめとして位置づけられた科目であり、教職履修カルテ」の作成が必須となっています。作成方法等の詳細は以下の教職課程 HP を参照してください。

<http://web.edu.waseda.ac.jp/tep/zaigakusei/#b02>

教育職員免許法施行規則に定められている科目		必要単位	設置科目	単位	履修方法
教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	「教職概論(小・中・高)」※1	2	必修
	教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。)		または		
	進路選択に資する各種の機会の提供等		「教職概論(中・高)」※1		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	「教育基礎総論 1(小・中・高)」	2	必修
	教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項		(旧:「教育基礎総論(小・中・高)」, 「教育原理」※2		
	幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)		「教育心理学(小・中・高)」	2	必修
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	13 9	「教育課程編成論(小・中・高)」※3 または 「教育課程編成論(中・高)」 (旧: 教育原理の一部)	1	必修
	各教科の指導法		教科教育法 1※4 教科教育法 2 (2010年度より「教科教育法 1・2」が分割)	2 2	必修
			教科教育法 3	2	中学のみ必修
	道徳の指導法		「道徳教育論(小・中・高)」※3 または 「道徳教育論(中・高)」	2	中学のみ必修
	特別活動の指導法		「特別活動論(小・中・高)」※3 または 「特別活動論(中・高)」	2	必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		「教育方法研究(小・中・高)」※3 または 「教育方法研究(中・高)」	2	
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4	「生徒指導・進路指導論(小・中・高)」※3 または 「生徒指導・進路指導論(中・高)」	2	必修
	進路指導の理論及び方法		「生徒理解と教育相談(小・中・高)」※3 または 「生徒理解と教育相談(中・高)」 (旧: 教育臨床論)	2	必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)				
教育実習		中学 5	教育実習演習(3週間) (旧: 教育実習演習(中学))	5	中学必修
		高校 3	教育実習演習(2週間)※5 (旧: 教育実習演習(高校))	3	高校必修
教職実践演習		2	「教職実践演習(中・高)」 または 「総合演習(小・中・高)」※6 または 「総合演習(中・高)」※6	2	必修
最低修得単位数				中学 32・高校 26	

- ※ 1)「\*\*\* (中・高)」と「\*\*\* (小・中・高)」の違いは、前者は中学・高校の免許状のみに使える科目であるのに対して、後者は中学・高校に加え、小学校の免許状にも使える点になります。現状の科目等履修生制度では中学・高校の免許状のみ取得可能ですので、どちらの科目を履修しても問題ありません。
- ※ 2) 1999年度以前に教育原理を履修した場合には、「教育課程の意義及び編成の方法」の内容が不足しておりますので、科目「教育課程編成論」を履修してください。
- ※ 3) 2009年度をもって廃止。
- ※ 4) 旧課程で「教科教育法」を履修している場合には、新法の教科教育法1の単位として使用できます。
- ※ 5) 中学校免許状取得希望者で、すでに教育実習の単位として、2週間3単位を修得済の方が、不足する1週間2単位分を補う場合は、2週間の教育実習を行い、教育実習演習(2週間)3単位を修得してください。
- ※ 6) 2009年度以前入学者の「教職に関する科目(必修)」であった「総合演習」は、2012年度をもって廃止されました。2012年度までに「総合演習」の単位を修得していない場合、代替として、2013年度より新設された「教職実践演習」の単位を修得してください。

### <教職に関する科目(選択)>

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

教育職員免許法施行規則に定められている科目		設置科目	単位数	履修方法
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	各 2 単位	選択
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	各 2 単位	選択
		教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		

※の科目は隔年開講

### <教科又は教職に関する科目(中学校1種・高等学校1種)>

以下の科目が「教科又は教職に関する科目」になります。また、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位もこの区分に計上されます。

教育職員免許法施行規則に定められている科目	設置科目	単位	履修方法
教科又は教職に関する科目	介護体験実習講義※1	2	小学・中学のみ必修
	人間理解基盤講座	2	選択
	教育インターンシップ※2	4	選択
	初等教育インターンシップ	4	選択
	中等国語科インターンシップ	2	選択
	教職研究VI(生涯教育)	2	選択
	教職研究VII(障害児教育)※隔年開講	2	選択
	国語科授業技術演習	2	選択

- ※ 1. 「介護体験実習講義」  
履修ルールの詳細は「別紙② 介護等体験申込要項」を参照してください。
- ※ 2. 「学級経営教育インターンシップ」「特別支援教育インターンシップ」「インクルーシブ教育インターンシップ」

履修にあたっては以下3つの条件を満たす必要があります。いずれかの要件が満たされない場合、当該科目の登録は取り消されることがあります。

## 【アンケート回答】

科目登録の他、Waseda-net ポータルより「2014 年度教育インターンシップ登録希望申請」アンケートに回答すること。Waseda-net ポータルログイン後、左側メニュー[授業]カテゴリーの中の「2014 年度教育インターンシップ登録希望申請」を選択。

回答期間：2014 年 4 月 1 日（火）～4 月 5 日（土）

## 【説明会への出席】

以下の説明会に出席すること。

開催日時：2014 年 4 月 7 日（月）昼休み（12:15～13:00）

開催場所：早稲田キャンパス 16 号館 701 教室

## 【履修条件】

以下の受講条件を全て満たしていることが望ましい。（教職課程認定上の同等科目でも可）

- a. 人間理解基盤講座の単位を修得済みまたは春学期に並行履修していること。（特別支援教育インターンシップは前年度までに修得済であることが必須）
- b. 教職概論、教育基礎総論、教育課程編成論、教育心理学、教科教育法 1・2 の単位を修得済みであること。
- c. 生徒指導・進路指導論および教育方法研究の単位を修得済みまたは並行履修していること。

## 教員就職指導

教員就職を支援するため、教員就職指導室が常設されています。教員就職指導室では専門スタッフ（教員就職アドバイザー）が、公立・私立の学校の教員として就職を目指す皆さんの様々な相談に応じ、個別に指導を行っています。

場所	早稲田キャンパス14号館202号室
利用対象者	在学生、卒業生、科目等履修生
電話番号	03-3203-0921
開室時間	月～金曜日 10:00～12:30 13:30～17:00 土曜日 10:00～12:30 13:30～17:00

## その他

・他大学の通信教育課程の履修について:単位修得に関する費用的な面に触れると、他大学の通信教育課程(私立大学通信教育協会:<http://www.uce.or.jp>)の方が安くなることがあります。ただし、教育実習および介護等体験に関しては正規生でないと受け付けられないのが通常ですので、各自ご確認ください。他大学で修得した単位と当学で修得した単位を組み合わせることで、教員免許の申請を行うことも可能です。

別紙③-3 資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(中学校 1 種免許状・社会) ※2014 年 1 月時点の内容です。変更等があった場合は学部 HP・掲示版にてご案内します。

1/2

免許法施行規則		対応する科目						
文科省 科目分類	本学指定科目	配当 学年	履修方法	設置学部	本学指定科目	配当 学年	履修方法	設置学部
日本史及び 外国史	日本史概論 1	1~	全て 必修	社会学部	歴史学(日中関係史) 2	1~	選択	社会学部
	日本史概論 2	1~			歴史学(アジア史) 1	1~		
	外国史概論 1	1~			歴史学(アジア史) 2	1~		
	外国史概論 2	1~			歴史学(ヨーロッパ史) 1	1~		
	日本経済史	1~	歴史学(ヨーロッパ史) 2		1~			
	西洋経済史	1~	歴史学(アラブ世界の歴史) 1		1~			
	ソシオダイナミクス 1	1~	歴史学(アラブ世界の歴史) 2		1~			
	ソシオダイナミクス 2	1~	日本政治史 I		1~			
	近代西洋社会思想史 I	1~	日本政治史 II		1~			
	近代西洋社会思想史 II	1~	外国政治史 I		1~			
	社会史 1	1~	外国政治史 II		1~			
	社会史 2	2~	政治学史 I		2~			
	比較社会経済史 1	1~	政治学史 II		2~			
	比較社会経済史 2	2~	経済思想史 I		1~			
	歴史学(日本史) 1	1~	経済思想史 II		1~			
	歴史学(日本史) 2	1~	経済学史 I		2~			
歴史学(日中関係史) 1	1~	経済学史 II	2~					
地理学 (地誌を含む)	人文地理学	1~	注1	社会学部	地誌	1~	1科目 必修	社会学部
	自然地理学 I	1~			地誌 I	2~		
	自然地理学 II	1~		教育学部	地誌 II	2~	選択	教育学部
	地理 I	2~			地理 III	2~		
	地理 II	2~						
法律学 政治学	公法入門(国家と法)	1~	注2	社会学部	国会論	3~	選択	社会学部
	私法入門(市民と法)	1~			個別的労働法 I	2~		
	政治学原論 I	1~			個別的労働法 II	2~		
	政治学原論 II	1~			社会保障法 I	3~		
	政治学入門	1~			社会保障法 II	3~		
	医事法	1~			集团的労働法	3~		
	EU地域研究 1	1~			情報政治論	3~		
	EU地域研究 2	1~			政策科学 1	1~		
	環境法 1	3~			政策科学 2	2~		
	環境法 2	3~			政治過程論 1	3~		
	学校教育と憲法	3~			政治過程論 2	3~		
	金融担保法	3~			政治行動論 I	3~		
	行政学 I	2~			政治行動論 II	3~		
	行政学 II	2~			政治分析	1~		
	行政救済法 1[行政訴訟]	2~			政治分析の基礎	1~		
	行政救済法 2[国家補償]	2~			生命倫理と法 I	3~		
	行政法総論 I	2~			生命倫理と法 II	3~		
	行政法総論 II	2~			選挙制度論	1~		
	刑事政策 I	3~			戦後重大犯罪と刑事法	1~		
	刑事政策 II	3~			税法	3~		
	刑法各論 1	2~			損害賠償法	3~		
	刑法各論 2	3~			太平洋地域海洋国家研究	3~		
	刑法総論 I	1~			第三世界論	3~		
	刑法総論 II	1~			知的財産権法 I	2~		
	憲法 I	1~			知的財産権法 II	2~		
	憲法 II	2~			都市法	3~		
	現代市民権理論	3~			比較議会論	3~		
	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2~			比較政治学	3~		
	現代政治制度論(イギリス)	2~			比較政治制度論 I	2~		
	現代政治制度論(イタリア)	2~			比較政治制度論 II	2~		
	現代政治制度論(スペイン)	2~			不動産法	3~		
	現代政治制度論(ドイツ)	2~			平和学 I	1~		
	現代政治制度論(フランス)	2~			平和学 II-1(平和と戦争)	2~		
	現代政治分析(アメリカ合衆国)	3~			平和学 II-2(貧困・格差・人権・環境と平和)	2~		
	現代政治分析(イギリス)	3~			平和構築論	3~		
	現代政治分析(イタリア)	3~			法社会学 I	3~		
	現代政治分析(スペイン)	3~			法社会学 II	3~		
	現代政治分析(ドイツ)	3~			法制文明論 1	3~		
	Contemporary Political Analysis (Japan)	3~			法制文明論 2	3~		
	現代地方自治論	1~			民法概論	1~		
	国際NGO協力論	3~			民法 1[総則]	2~		
	国際開発制度論	3~			民法 2[物権]	2~		
	国際関係論	1~			民法 3[債権総論]	2~		
	国際関係論入門	1~			民法 4[債権各論]	2~		
	国際経済法 1	1~			民法 5[親族]	2~		
	国際経済法 2	3~			民法 6[相続]	2~		
	国際政治理論	3~			立法過程論	3~		
国際法 1	1~	労働市場法	2~					
国際法 2	3~							

資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(中学校 1種免許状・社会) ※2014年1月時点の内容です。変更等があった場合は学部HP・掲示版にてご案内します。 2/2

社会学 経済学	経済学入門 1[マクロ経済学]	1~	注3	社会学	社会科学原論(秋学期)	1~	選択	社会学
	経済学入門 2[ミクロ経済学]	1~			社会科学原論(春学期)	1~		
	社会学原論	1~			社会科学入門	1~		
	社会学入門	1~			社会科学の基礎	1~		
	マクロ経済学 I	2~			社会学の思想と理論	2~		
	ミクロ経済学 I	2~			社会調査の基礎	1~		
	移行経済論 I	2~	社会調査法 1		1~			
	移行経済論 II	2~	社会調査法 2		1~			
	応用マクロ経済学 I	2~	社会統計の読み方		1~			
	応用マクロ経済学 II	2~	社会問題の社会学 1		1~			
	環境社会論 1	1~	社会問題の社会学 2		1~			
	環境社会論 2	1~	食料と農業の経済学 I		2~			
	環境の産業連関分析	2~	食料と農業の経済学 II		2~			
	金融経済論 I	2~	ジェンダー論 I		1~			
	金融経済論 II	2~	ジェンダー論 II		2~			
	経済社会学 I	1~	実証経済学		2~			
	経済社会学 II	2~	世界人口移動論 1		1~			
	経済数学	1~	Population and Migration in the Contemporary World 2		1~			
	経済動学 I	2~	知識社会学		2~			
	経済動学 II	2~	統計解析の基礎		1~			
	計量経済学 I	2~	日常生活の社会学		1~			
	計量経済学 II	2~	日本の労働経済		2~			
	現代家族論 I	1~	比較社会思想 I		1~			
	現代家族論 II	1~	比較社会思想 II		1~			
	現代社会学の方法	2~	法と経済学		2~			
	ゲーム理論の基礎	1~	ポピュラー・カルチャーの社会科学		1~			
	公共事業論	2~	マクロ経済学 II		2~			
	公共選択論 I	2~	ミクロ経済学 II		2~			
公共選択論 II	2~	ラテンアメリカ研究 1	2~					
国際金融論 I	2~	ラテンアメリカ研究 2	2~					
国際金融論 II	2~	労働経済の理論	2~					
産業構造論	2~	労働問題 I	1~					
社会意識論	1~	労働問題 II	1~					
哲学 倫理学 宗教学	倫理学 1	1~	注4	社会学	中国哲学 1	1~	選択	社会学
	倫理学 2	1~			中国哲学 2	1~		
	哲学総論	1~			東洋哲学 1	1~		
	西洋哲学	1~			東洋哲学 2	1~		

(注1)「地理学」は、①~②の履修方法のいずれかを選択必修。

①人文地理学と自然地理学 I・IIを選択する場合は、3科目とも履修。②地理 I・IIを選択する場合は、2科目とも履修。

(注2)「法律学、政治学」は①~③の履修方法のいずれかを選択必修。

①公法入門と私法入門を選択する場合は、2科目とも履修。②政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。③政治学原論 I・IIを選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「社会学、経済学」は①~④の履修方法のいずれかを選択必修。

①社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。②経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。

③社会学原論を選択する場合は、1科目履修で可。

④マクロ経済学 I とミクロ経済学 I を選択する場合は、2科目とも履修。

(注4)「哲学、倫理学、宗教学」は①~②の履修方法のいずれかを選択必修。

①哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。②倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。

## 資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(高等学校 1 種免許状・地理歴史) ※2014 年 1 月時点の内容です。変更等があった場合は学部 HP・掲示版にてご案内します。

免許法施行規則	対応する科目			
文部省科目分類	本学指定科目	配当年次	履修方法	設置学部
日本史	日本史概論 1	1~	必修	社学
	日本史概論 2	1~		
	ソシオダイナミクス 1	1~	選択	
	日本経済史	1~		
	日本政治史 I	1~		
	日本政治史 II	1~		
	歴史学(日中関係史) 1	1~		
	歴史学(日中関係史) 2	1~		
	歴史学(日本史) 1	1~		
歴史学(日本史) 2	1~			
外国史	外国史概論 1	1~	必修	社学
	外国史概論 2	1~		
	外国政治史 I	1~	選択	
	外国政治史 II	1~		
	近代西洋社会思想史 I	1~		
	近代西洋社会思想史 II	1~		
	経済学史 I	2~		
	経済学史 II	2~		
	経済思想史 I	1~		
	経済思想史 II	1~		
	社会史 1	1~		
	社会史 2	2~		
	政治学史 I	2~		
	政治学史 II	2~		
	西洋経済史	1~		
	ソシオダイナミクス 2	1~		
	比較社会経済史 1	1~		
	比較社会経済史 2	2~		
	歴史学(アジア史) 1	1~		
	歴史学(アジア史) 2	1~		
歴史学(アラブ世界の歴史) 1	1~			
歴史学(アラブ世界の歴史) 2	1~			
歴史学(ヨーロッパ史) 1	1~			
歴史学(ヨーロッパ史) 2	1~			
人文地理学及び自然地理学	人文地理学	1~	注1	社学
	自然地理学 I	1~		教育
	自然地理学 II	1~		
	地理 I	2~		
	地理 II	2~		
地理 III	2~			
地誌	地誌	1~	注2	社学
	地誌 I	2~		教育
	地誌 II	2~		

(注1)「人文地理学及び自然地理学」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

①人文地理学と自然地理学 I・II を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。

②地理 I・地理 II・地理 III を選択する場合は、3科目とも履修しなければなりません。

(注2)「地誌」は、次の2通りの履修方法の内、いずれかを選択必修してください。

①地誌を選択する場合は、1科目履修で可。

資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(高等学校 1 種免許状・公民) ※2014 年 1 月時点の内容です。変更等があった場合は学部 HP・掲示版にてご案内します。 1/2

免許法 施行規則	対応する科目							
文科省 科目分類	本学指定科目	配 当 学 年	履 修 方 法	設 置 学 部	本学指定科目	配 当 学 年	履 修 方 法	設 置 学 部
法律学 (国際法含 む)	公法入門(国家と法)	1~	注1	社会学	国会論	3~	選択	社会学
	私法入門(市民と法)	1~			個別的労働法 I	2~		
	政治学原論 I	1~			個別的労働法 II	2~		
	政治学原論 II	1~			社会保障法 I	3~		
	政治学入門	1~			社会保障法 II	3~		
	医事法	1~	集团的労働法		3~			
	EU地域研究 1	1~	情報政治論		3~			
	EU地域研究 2	1~	政策科学 1		1~			
	環境法 1	3~	政策科学 2		2~			
	環境法 2	3~	政治過程論 1		3~			
	学校教育と憲法	3~	政治過程論 2		3~			
	金融担保法	3~	政治行動論 I		3~			
	行政学 I	2~	政治行動論 II		3~			
	行政学 II	2~	政治分析		1~			
	行政救済法 1[行政訴訟]	2~	政治分析の基礎		1~			
	行政救済法 2[国家補償]	2~	生命倫理と法 I		3~			
	行政法総論 I	2~	生命倫理と法 II		3~			
	行政法総論 II	2~	選挙制度論		1~			
	刑事政策 I	3~	戦後重大犯罪と刑事法		1~			
	刑事政策 II	3~	税法		3~			
	刑法各論 1	2~	損害賠償法		3~			
	刑法各論 2	3~	太平洋地域海洋国家研究		3~			
	刑法総論 I	1~	第三世界論		3~			
	刑法総論 II	1~	知的財産権法 I		2~			
	憲法 I	1~	知的財産権法 II		2~			
	憲法 II	2~	都市法		3~			
	現代市民権理論	3~	比較議会論		3~			
	現代政治制度論(アメリカ合衆国)	2~	比較政治学		3~			
	現代政治制度論(イギリス)	2~	比較政治制度論 I		2~			
	現代政治制度論(イタリア)	2~	比較政治制度論 II		2~			
	現代政治制度論(スペイン)	2~	不動産法		3~			
	現代政治制度論(ドイツ)	2~	平和学 I		1~			
	現代政治制度論(フランス)	2~	平和学 II-1(平和と戦争)		2~			
	現代政治分析(アメリカ合衆国)	3~	平和学 II-2(貧困・格差・人権・環境と平和)		2~			
	現代政治分析(イギリス)	3~	平和構築論		3~			
	現代政治分析(イタリア)	3~	法社会学 I		3~			
	現代政治分析(スペイン)	3~	法社会学 II		3~			
	現代政治分析(ドイツ)	3~	法制文明論 1		3~			
	Contemporary Political Analysis (Japan)	3~	法制文明論 2		3~			
	現代地方自治論	1~	民法概論		1~			
国際NGO協力論	3~	民法 1[総則]	2~					
国際開発制度論	3~	民法 2[物権]	2~					
国際関係論	1~	民法 3[債権総論]	2~					
国際関係論入門	1~	民法 4[債権各論]	2~					
国際経済法 1	1~	民法 5[親族]	2~					
国際経済法 2	3~	民法 6[相続]	2~					
国際政治理論	3~	立法過程論	3~					
国際法 1	1~	労働市場法	2~					
国際法 2	3~							

資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(高等学校 1 種免許状・公民) ※2014 年 1 月時点の内容です。変更等があった場合は学部 HP・掲示板にてご案内します。2/2

社会学 経済学 (国際経済 含む)	経済学入門 1[マクロ経済学]	1~	注2	社会学	社会科学原論(秋学期)	1~	選択	社会学
	経済学入門 2[ミクロ経済学]	1~			社会科学原論(春学期)	1~		
	社会学原論	1~			社会科学入門	1~		
	社会学入門	1~			社会科学の基礎	1~		
	マクロ経済学 I	2~			社会学の思想と理論	2~		
	ミクロ経済学 I	2~			社会調査の基礎	1~		
	移行経済論 I	2~	社会調査法 1		1~			
	移行経済論 II	2~	社会調査法 2		1~			
	応用マクロ経済学 I	3~	社会統計の読み方		1~			
	応用マクロ経済学 II	3~	社会問題の社会学 1		1~			
	環境社会論 1	1~	社会問題の社会学 2		1~			
	環境社会論 2	1~	食料と農業の経済学 I		2~			
	環境の産業連関分析	3~	食料と農業の経済学 II		2~			
	金融経済論 I	2~	ジェンダー論 I		1~			
	金融経済論 II	2~	ジェンダー論 II		2~			
	経済社会学 I	1~	実証経済学		2~			
	経済社会学 II	2~	世界人口移動論 1		1~			
	経済数学	1~	Population and Migration in the Contemporary World 2		1~			
	経済動学 I	2~	知識社会学		2~			
	経済動学 II	2~	統計解析の基礎		1~			
	計量経済学 I	2~	日常生活の社会学		1~			
	計量経済学 II	2~	日本の労働経済		3~			
	現代家族論 I	1~	比較社会思想 I		1~			
	現代家族論 II	1~	比較社会思想 II		1~			
	現代社会学の方法	2~	法と経済学		3~			
	ゲーム理論の基礎	1~	ポピュラー・カルチャーの社会科学		1~			
公共事業論	2~	マクロ経済学 II	2~					
公共選択論 I	2~	ミクロ経済学 II	2~					
公共選択論 II	2~	ラテンアメリカ研究 1	3~					
国際金融論 I	3~	ラテンアメリカ研究 2	3~					
国際金融論 II	3~	労働経済の理論	2~					
産業構造論	2~	労働問題 I	1~					
社会意識論	1~	労働問題 II	1~					
哲学 倫理学 宗教学 心理学	倫理学 1	1~	注3	社会学	中国哲学 2	1~	選択	社会学
	倫理学 2	1~			東洋哲学 1	1~		
	哲学総論	1~			東洋哲学 2	1~		
	心理学概論	1~			臨床心理学 I	2~		
	西洋哲学	1~	臨床心理学 II		2~			
	中国哲学 1	1~	臨床哲学		2~			

(注1)「法律学、政治学」は①~③の履修方法のいずれかを選択必修。

①公法入門と私法入門を選択する場合は、2科目とも履修。

②政治学入門を選択する場合は、1科目履修で可。

③政治学原論 I・IIを選択する場合は、2科目とも履修。

(注2)「社会学、経済学」は①~④の履修方法のいずれかを選択必修。

①社会学入門を選択する場合は、1科目履修で可。 ②経済学入門を選択する場合は、1・2両方とも履修。

③社会学原論を選択する場合は、1科目履修で可。 ④マクロ経済学 I とミクロ経済学 I を選択する場合は、2科目とも履修。

(注3)「哲学、倫理学、宗教学、心理学」は①~③の履修方法のいずれかを選択必修。

①哲学総論を選択する場合は、1科目履修で可。 ②倫理学を選択する場合は、1・2両方とも履修。

③心理学概論を選択する場合は、1科目履修で可。

資格取得のための科目履修

○教科に関する科目(高等学校 1 種免許状・商業) ※2014 年 1 月時点の内容です。変更等があった場合は学部 HP・掲示版にてご案内します。

免許法施行規則	対応する科目			
文部省科目分類	本学指定科目	配当学年	履修方法	設置学部
商業の 関係科目	会計監査論	3～	選択	社会学
	会计学	2～		
	会社法 1[会社のガバナンス]	1～		
	会社法 3[組織再編・M&A]	3～		
	会社法総則	1～		
	会社法 2[会社のファイナンス]	1～		
	管理会計	3～		
	外部報告会計論	3～		
	企業財務論	3～		
	金融商品取引法 I	3～		
	金融商品取引法 II	3～		
	グローバル・サプライチェーン・マネジメント	2～		
	経営科学 I	2～		
	経営科学 II	3～		
	経営管理論	3～		
	経営学	2～		
	経営学入門	1～		
	経営戦略 I	3～		
	経営戦略 II	3～		
	経営組織論	3～		
	経営のための経済学 I	1～		
	経営のための経済学 II	1～		
	原価計算	3～		
	国際経営論 I	2～		
	国際経営論 II	2～		
	国際貿易論 1	2～		
	国際貿易論 2	2～		
	産業社会学 I	2～		
	産業社会学 II	2～		
	産業心理学 I	2～		
	産業心理学 II	2～		
	産業組織論 I	2～		
	産業組織論 II	2～		
	証券論	2～		
	人的資源管理論 I	3～		
	人的資源管理論 II	3～		
	生産システム論	3～		
	中小企業論 I	2～		
	中小企業論 II	2～		
	賃金論 I	3～		
賃金論 II	3～			
ビジネス・イングリッシュ I	2～			
ビジネス・イングリッシュ II	2～			
簿記 I	1～			
簿記 II	2～			
マーケティング入門	1～			
リスクマネジメントと保険 I	3～			
リスクマネジメントと保険 II	3～			
流通論 I	3～			
流通論 II	3～			
職業指導	職業指導 1	3～	必修	社会学
	職業指導 2	3～		

